



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日
東・名

上場会社名 AMGホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 8891 URL <https://www.amg-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 克彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大脇 貴志 (TEL) 052(212)5190
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,812	24.7	1,041	1.3	971	△3.6	592	△75.9
2023年3月期第3四半期	15,890	67.7	1,027	74.3	1,008	75.8	2,459	635.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 614百万円(△75.2%) 2023年3月期第3四半期 2,471百万円(627.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	205	61	—	—
2023年3月期第3四半期	855	75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	32,219	30.5	9,883	30.5	—	—
2023年3月期	28,927	32.5	9,478	32.5	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,812百万円 2023年3月期 9,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00	—
2024年3月期	—	27.50	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	31.5	1,600	11.5	1,500	8.1	950	△67.8	330	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,906,048株	2023年3月期	2,906,048株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	24,865株	2023年3月期	24,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,881,184株	2023年3月期3Q	2,873,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や雇用環境の改善により、景気は引き続き緩やかな回復基調が続いております。その一方で、中東地域の地政学的リスクの高まりによる世界的な資源価格の値上がり、継続的な物価高による個人消費回復の遅れ等による景気後退への懸念が強まっており、景気動向は依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界においては、コロナ禍以降も安定した住宅需要があり、不動産市場は堅調に推移しております。しかし、建築費の高騰や住宅ローン金利上昇の可能性が今後の住宅需要に対する懸念材料となっており、引き続き予断を許さない状況が続いております。

建設業界においては、戻りつつあるインバウンド需要や法人による店舗・商業施設等の設備投資需要は堅調に推移しておりますが、建設技術労働者不足による建設労務費の値上がりや建築資材価格の高止まりが依然として続いております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高19,812百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益1,041百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益971百万円（前年同期比3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益592百万円（前年同期比75.9%減）となりました。

② 事業の種類別セグメントの業績概要

(分譲マンション事業)

分譲マンション事業では、当第3四半期連結累計期間において、新たに3棟101戸の新築マンション（モアグレース西岐阜駅ザ・カーサ、モアグレースー宮新生、モアグレース新木曾川レジデンス）の分譲を開始し、前期から販売開始した物件及び中古物件1戸を併せ148戸（前期は69戸）を成約しております。また、引渡しにつきましては、新規完成物件2棟、完成在庫を併せ76戸（前期は74戸）を行っております。

以上の結果、売上高2,985百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、88百万円（前年同期比65.7%減）となりました。

(注文建築事業)

注文建築事業では、当第3四半期連結会計期間において、㈱アーキッシュギャラリーが受注した「(仮称)SUVLAND船橋新装工事」や「(仮称)三河日産自動車株式会社岡崎中央店新築工事」、㈱高垣組が受注した「愛知たいようの杜在宅介護サポートセンター新築工事」等の引渡しを行っております。

以上の結果、売上高7,203百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は316百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(戸建分譲事業)

戸建分譲事業では、㈱TAKI HOUSEの業績とともに、2022年10月に連結子会社となった㈱川崎ハウジングの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）は前年同期を大幅に上回ることであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において243戸の新規契約、247戸の引渡しを行い、売上高9,465百万円（前年同期比44.7%増）、セグメント利益（営業利益）は892百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

(不動産管理事業)

不動産管理事業では、エムジー総合サービス㈱において、分譲マンション241棟6,331戸の管理、賃貸物件の退去に伴うリフォーム61戸、マンションの大規模修繕のコンサルタント4件を手掛けております。また、2022年10月に連結子会社となった㈱ハウメンテの業績が本事業に加わったことから、売上高及びセグメント利益（営業利益）はともに前年同期を上回ることであります。

以上の結果、売上高536百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント利益（営業利益）は102百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

(賃貸事業)

賃貸事業では、第1四半期連結会計期間に(株)エムジーホームが取得したマンション用地での賃料収入が加わったことから、売上高及びセグメント利益(営業利益)はともに前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、売上高82百万円(前年同期比21.6%増)、セグメント利益(営業利益)は55百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は28,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,423百万円増加いたしました。これは主に物件の完成により販売用不動産が1,046百万円増加し、工事代の支払等により仕掛販売用不動産が2,700百万円増加したことによります。

固定資産は3,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円減少いたしました。これは主に固定資産の減価償却によります。

以上の結果、総資産は32,219百万円となり前連結会計年度末に比べ3,291百万円増加いたしました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は16,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,632百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により短期借入金が1,597百万円増加し、工事代等の支払により支払手形及び買掛金が404百万円減少したことによります。

固定負債は6,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,254百万円増加いたしました。これは主にプロジェクト資金の借入により、長期借入金が1,387百万円増加したことによります。

以上の結果、負債合計は22,335百万円となり前連結会計年度末に比べ2,886百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は9,883百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益592百万円の計上により増加し、配当金の支払により208百万円減少したものであります。

以上の結果、自己資本比率は30.5%(前連結会計年度末は32.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想に対して売上高で約66.0%、営業利益で約65.1%、経常利益で約64.8%の進捗率となっており、概ね期初の連結業績予想の想定内で推移しております。

分譲マンション事業における引渡しが第4四半期連結会計期間に集中していること、また、他の事業につきましても堅調に推移していることから、2023年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,403	2,476,588
受取手形、売掛金及び契約資産	1,005,240	2,158,870
販売用不動産	5,699,255	6,745,596
仕掛販売用不動産	14,192,000	16,892,497
前渡金	367,279	221,417
その他	367,210	424,965
流動資産合計	25,496,389	28,919,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,458,466	1,435,572
土地	1,685,850	1,648,850
その他	482,697	494,127
減価償却累計額	△1,136,634	△1,173,074
有形固定資産合計	2,490,380	2,405,476
無形固定資産		
のれん	246,585	231,050
その他	24,300	32,714
無形固定資産合計	270,886	263,764
投資その他の資産	670,105	630,229
固定資産合計	3,431,372	3,299,470
資産合計	28,927,762	32,219,407
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,248	2,392,529
短期借入金	7,928,145	9,526,020
未払法人税等	240,401	84,219
1年内返済予定の長期借入金	2,307,092	3,221,320
契約負債	548,004	433,809
賞与引当金	83,307	35,965
完成工事補償引当金	83,263	82,515
その他	710,907	554,809
流動負債合計	14,698,371	16,331,190
固定負債		
社債	470,800	313,600
長期借入金	3,921,945	5,309,426
退職給付に係る負債	97,019	106,570
役員退職慰労引当金	154,016	164,592
その他	106,923	110,573
固定負債合計	4,750,704	6,004,761
負債合計	19,449,075	22,335,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	166,713	166,713
利益剰余金	8,078,442	8,464,789
自己株式	△23,263	△23,331
株主資本合計	9,389,914	9,776,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,664	36,639
その他の包括利益累計額合計	21,664	36,639
非支配株主持分	67,106	70,623
純資産合計	9,478,686	9,883,455
負債純資産合計	28,927,762	32,219,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	15,890,320	19,812,797
売上原価	13,171,506	16,660,905
売上総利益	2,718,814	3,151,891
販売費及び一般管理費		
役員報酬	112,366	121,855
給料及び手当	665,296	793,967
役員退職慰労引当金繰入額	12,292	11,788
その他の人件費	160,011	201,665
減価償却費	46,502	59,733
租税公課	74,054	176,096
広告宣伝費	159,124	230,517
賃借料	70,947	73,143
販売手数料	103,405	130,906
その他	287,196	310,915
販売費及び一般管理費合計	1,691,197	2,110,588
営業利益	1,027,617	1,041,303
営業外収益		
受取配当金	4,341	6,874
受取補償金	—	22,602
雑収入	40,142	23,756
その他	4,038	3,772
営業外収益合計	48,523	57,004
営業外費用		
支払利息	62,937	124,708
その他	4,466	1,623
営業外費用合計	67,404	126,331
経常利益	1,008,735	971,976
特別利益		
固定資産売却益	2,844	—
負ののれん発生益	1,809,246	—
特別利益合計	1,812,090	—
特別損失		
固定資産除却損	—	7,147
和解金	—	11,000
投資有価証券売却損	—	3,209
投資有価証券評価損	—	1,106
特別損失合計	—	22,463
税金等調整前四半期純利益	2,820,826	949,513
法人税、住民税及び事業税	267,088	322,476
法人税等調整額	88,083	27,984
法人税等合計	355,172	350,460
四半期純利益	2,465,654	599,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,242	6,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,459,411	592,428

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,465,654	599,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,604	14,974
その他の包括利益合計	5,604	14,974
四半期包括利益	2,471,258	614,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,465,015	607,403
非支配株主に係る四半期包括利益	6,242	6,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	2,856,880	485,395	6,497,301	450,606	—	10,290,184	—	10,290,184
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	5,526,366	12,929	—	—	5,539,295	—	5,539,295
顧客との契約から生じる収益	2,856,880	6,011,761	6,510,230	450,606	—	15,829,479	—	15,829,479
その他の収益(注)2	—	—	—	—	60,841	60,841	—	60,841
外部顧客への売上高	2,856,880	6,011,761	6,510,230	450,606	60,841	15,890,320	—	15,890,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	262,999	33,190	520	6,961	303,670	△303,670	—
計	2,856,880	6,274,760	6,543,420	451,126	67,802	16,193,991	△303,670	15,890,320
セグメント利益	258,819	353,391	678,791	78,149	40,940	1,410,092	△382,475	1,027,617

(注) 1. セグメント利益の調整額△382,475千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用353,618千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

2022年10月4日付で株式会社川崎ハウジング及び株式会社ハウメンテの株式を取得したため、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

この影響により前連結会計年度末に比べて、当第3四半期連結会計期間末の「戸建分譲事業」のセグメント資産の金額は6,781,508千円、「不動産管理事業」セグメント資産の金額は49,684千円、「賃貸事業」セグメント資産の金額は25,939千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	戸建分譲事業	不動産管理事業	賃貸事業	計		
売上高								
一時点で移転される財又はサービス	2,985,924	453,580	9,419,490	476,123	—	13,335,119	—	13,335,119
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	6,404,011	—	—	—	6,404,011	—	6,404,011
顧客との契約から生じる収益	2,985,924	6,857,591	9,419,490	476,123	—	19,739,130	—	19,739,130
その他の収益(注)2	—	—	—	—	73,667	73,667	—	73,667
外部顧客への売上高	2,985,924	6,857,591	9,419,490	476,123	73,667	19,812,797	—	19,812,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	345,955	46,425	60,729	8,807	461,917	△461,917	—
計	2,985,924	7,203,547	9,465,915	536,852	82,474	20,274,715	△461,917	19,812,797
セグメント利益	88,785	316,700	892,824	102,010	55,942	1,456,263	△414,959	1,041,303

(注) 1. セグメント利益の調整額△414,959千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用403,489千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。